

No.6	時代	江戸時代	遺跡	山陰道・野坂峠越え（津和野町）
------	----	------	----	-----------------

江戸時代の山陰道

津和野町で発掘された近世山陰道（野坂峠越え）は、江戸時代、石見と長州（山口）を結ぶ経済・文化交流のメインルートでした。道路の基礎や坂道での踏み石に使われた石敷き、側溝、排水路が残り、現代の道路と同じくらいの強度を持っていたようです。



近世の山陰道

山陰道は江戸幕府における重要度は低く、各藩の参勤交代も別の経路を利用したため、時代が下がるにつれ庶民にとっての経済・文化交流のルートとしての性格が強まった。石見部においては、隣接する長州や九州方面への重要な交通路となった。

資料の出典	「山陰道（野坂峠越・徳城峠越）発掘調査報告書」 2008 津和野町教育委員会
-------	--

江戸時代の山陰道

津和野町で発掘された近世山陰道（野坂峠越え）は、江戸時代、石見と長州（山口）を結ぶ経済・文化交流のメインルートでした。道路の基礎や坂道での踏み石に使われた石敷き、側溝、排水路が残り、現代の道路と同じくらいの強度を持っていたようです。



津和野町で、江戸時代の山陰道（野坂峠越え）が発掘されました。

上の2枚の写真を見て、道路の造り方や気がついたことをまとめてみましょう。

